

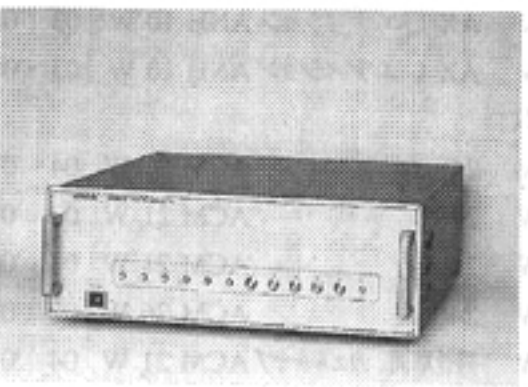
# RSUシミュレーターなど開発

## マイクロニクス

電子計測機器製造・販売のマイクロニクス(田仲克彰社長、東京都八王子市)は、ETC(ノンストップ自動料金收受システム)／DSRC(狭域通信)車載器試験システムと、ETC路側機(RSU)シミュレーターの2機種を開発、5日発売したと発表した。

新しい車載器試験システム「ME9000」は、ETC車載器に対応した従来のASK変調方式に加え、業界で初めてDSRCに対応した「QPSK」変調方式を搭載した。DSRCは、ITS(高度道路交通システム)の一つとして駐車場管理や物流管理、給油所などで利用が普及すると目されている通信システム。

RSUシミュレーター「ME9010」は、料金所に設置されるETC路側機のシミュ



レーター装置。QPSK変調方式に対応させ、ASK／QPSK車載器の基本動作試験や動的動作試験、無線系各種試験を行うツールとしている。

価格はME9000システムが1132万円から、ME9010シミュレーターが752万円から。年間販売計画は2機種合計で20セット。

問い合わせはマイクロニクス ☎0426-37-3667